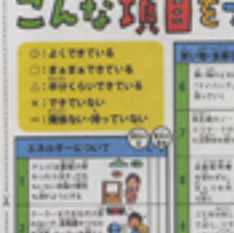
エコライフでストップ温暖化

京都市内の11校が参加

小学校で事前の学習会

節電や節水 できることから始めよう



イラスト：高田デザイン　資料「こどもエコライフ・チャレンジ」（京都市）に作成

「節電」「節水」「ごみ減らし」などの目標を掲げる市内の小学生

ウーラーをつけたり、冷蔵庫を開ったりする回数が増えたりして、電気の消費量が多い夏休み。京都市内の小学校十一校は、毎日の家庭生活を見直して節電や節水などを心がける「こどもエコライフチャレンジ」をします。地球温暖化防止のための取り組みです。みなさんもできることから始めてみませんか。（田辺 郁）

「こどもエコライフチャレンジ」は、昨年、市内の小学校一〇〇校を対象に実施されました。今年度は、十一校が参加しています。初日の十日、市の担当者が、参加者に「夏休みは、家族で一緒に取り組んでほしい」と呼びかけました。

「エネルギーについて」、「ごみ・資源・食べものについて」の二つの項目に分かれています。

「エネルギーについて」では、「冷蔵庫の扉を開けるときは、すばやく」、「テレビは、見ないときは消す」、「使わないコンセントは、プラグを抜く」などの項目があります。

「ごみ・資源・食べものについて」では、「ごみを減らしたり、リサイクルしたりしよう」、「ごみ袋は、半分以下にしよう」、「食べ残しをしない」などの項目があります。

一人一人が、毎日、チェックシートを使ってこれらの項目をチェックし、自分の生活がどうだったかを考えます。

「エネルギーについて」では、「家族みんなで話しあって、ルールを作ってみよう」、「家族みんなで、節電・節水の目標を決めよう」、「ごみを減らしたり、リサイクルしたりしよう」などの項目があります。

「ごみ・資源・食べものについて」では、「ごみ袋は、半分以下にしよう」、「食べ残しをしない」などの項目があります